

令和元年度本巢市教育委員会
事務事業の点検・評価結果報告書



令和2年8月
本巢市教育委員会

点検評価結果の概要

I. はじめに

1. 教育委員会事務事業の点検・評価制度の実施について

平成19年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の活動状況・会議の実施状況や所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることも規定されています。

本巢市教育委員会では、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間として平成27年2月に「本巢市教育基本計画 後期計画」を策定いたしました。

令和元年度の教育委員会事務事業の点検・評価は、この「本巢市教育基本計画 後期計画」に定める項目ごとに点検・評価することとし、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、ここにその結果を報告いたします。

Ⅱ. 点検・評価の実施方法について

1. 評価の対象

教育委員会が令和元年度に実施した、会議・調査活動及び事務事業について点検・評価を実施する。

- ・ 教育委員会の活動状況、教育委員会会議の実施状況等
- ・ 本巢市教育基本計画の重点ごとの主要施策の執行状況、事務事業の執行状況

2. 評価の進め方

(1) 一次評価

教育委員会事務局において評価対象事業等の自己評価を実施する。

(2) 二次評価

一次評価を基に、評価委員（教育に関し学識経験を有する者等）により二次評価を実施する。

(3) 最終評価

教育委員会は、一次評価・二次評価の結果を踏まえ、最終評価を実施し報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表を行う。

3. 点検・評価の基準

点検・評価は、対象事業の必要性、効率性、有効性、達成度の視点から評価を行う。また、下記の評定基準により総合的に評価を行う。

<総合評価>

次の4区分により達成度の評価を行いました。

評 定	内 容
A	順調に達成しているもの
B	おおむね順調に達成しているもの
C	達成見込みであるが課題があるもの
D	順調でないもの

Ⅲ. 評価結果の概要

1. 教育委員会の活動状況

令和元年度の教育委員会の活動状況の点検評価は、下記のようにになりました。

(1) 教育委員会の会議の活動状況

- ①教育委員会の開催
- ②総合教育会議の開催
- ③点検・評価委員会の開催

評価

A

A

A

(2) 調査活動の状況

- ①学校訪問
- ②先進地視察
- ③市町村教育委員会連合会研究総会

A

A

A

2. 事務事業の執行状況

令和元年度の重点施策別の点検評価は、下記のようにになりました。

目標 1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上 (11 項目中の評価、A : 7 項目、B : 4 項目)
施策② 心と体のすこやかな発達 (10 項目中の評価、A : 10 項目、B : 0 項目)
施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援 (3 項目中の評価、A : 3 項目、B : 0 項目)
施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策⑤ 教職員の研修の充実 (11 項目中の評価、A : 10 項目、B : 1 項目)

評価

B

目標 2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進 (3 項目中の評価、A : 2 項目、B : 1 項目)
--

評価

B

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策② 地域ぐるみによる子ども支援 (4 項目中の評価、A : 4 項目、B : 0 項目)

A

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

B

施策① 子どもの安全・安心の確保

(10 項目中の評価、A : 9 項目、B : 1 項目)

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

評価

重点(1) 未来を築く人づくり

B

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

(20 項目中の評価、A : 18 項目、B : 1 項目、- : 1 項目)

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

B

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

(18 項目中の評価、A : 18 項目、B : 0 項目)

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

(18 項目中の評価、A : 12 項目、B : 5 項目、- : 1 項目)

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

A

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

(11 項目中の評価、A : 11 項目、B : 0 項目)

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

評価

重点(1) 子どもの居場所づくり

A

施策① 安心して学べる学校の創造

(8 項目中の評価、A : 8 項目、B : 0 項目)

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

(5 項目中の評価、A : 5 項目、B : 0 項目)

施策③ 特別支援教育体制の充実

(4 項目中の評価、A : 4 項目、B : 0 項目)

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

A

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

(10 項目中の評価、A : 10 項目、B : 0 項目)

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

(5 項目中の評価、A : 5 項目、B : 0 項目)

IV. 点検評価結果の内容について

(1) 教育委員会の活動状況

評価

①教育委員会会議の開催

A

教育委員会会議の開催状況については、会議を13回、議案45件の審議を厳正に行いました。また、委員会終了後には、委員からの情報提供や、事務局からの事務事業の進捗状況その他の報告に関し、委員と事務局との意見交換を活発に行いました。

②総合教育会議の開催

A

地方教育行政法の改正により、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り教育課題を共有するため、平成27年度から設置が義務化となり、開催しています。

会議では、「教科専門指導員等の活用」、「数学のまちづくり」、「ウオークのまちづくり」などについて、市長等と意見交換を行いました。

③点検評価委員会

A

平成30年度に実施した教育委員会事業についての点検・評価結果を協議し、報告書をまとめました。

(2) 調査活動の状況

評価

① 学校訪問

A

調査活動の状況等については、真桑幼稚園、根尾幼稚園、弾正幼稚園、糸貫西幼稚園、弾正小学校、土貴野小学校、外山小学校、一色小学校、真正中学校、糸貫中学校を視察し、学校教育（園）の現状を把握した他、学校現場から直接意見を聴くことで、教育現場の現状をそれぞれの角度から把握することができました。

② 先進地視察

A

しだみ古墳群やしだみミュージアムを訪れ、これからの本巢市における文化財・自然環境の保護や、船来山古墳群の保存活用についてについて参考になりました。

③ 市町村教育委員会連合会研究総会

A

羽島二町や美濃加茂市教育委員会の先進的な取り組みを学ぶことができました。

(3) 各重点における事務事業の執行状況

目標1 知・徳・体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上	評価
・自分の教科指導を観る一つの〔窓〕を活用	B
・個に応じた学習指導の実施	A
・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）	B
・小学校情報機器整備事業	A
・学校間ネットワーク整備事業	A
・小学校指導用教材整備事業	A
・中学校指導用教材整備事業	A
・各学校ホームページの活用	B
・ライブ中継システムの効果的な活用	B
・校務支援システム導入事業	A
・幼保小中の連続した英語活動・英語指導等の充実	A

施策② 心と体のすこやかな発達	評価
・道徳教育の推進	A
・道徳研修の充実・教師の授業力向上	A
・道徳教育の支援	A
・平和学習の充実	A
・図書室の蔵書等の充実	A
・学校図書電算化システムの整備	A
・〔地産地消〕給食に本巣市産・岐阜圏域産・岐阜県産の食材を取り入れる	A
・体力・運動能力テストの実施	A
・部活動支援事業の実施	A
・生きる力を育むプロジェクト（園児体力向上支援事業）	A

施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援	評価
・児童会・生徒会活動サミットの実施	A
・E S Dの視点に立った教育の推進 環境保全活動事業の実施	A
・プロジェクトアドベンチャー体験	A

施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進	評価
・特別支援教育、園・学校における個に応じた指導の充実	A
・定期的な教育相談、保護者のニーズに応じた相談	A

施策⑤ 教職員の研修の充実	評価
・4～7月：事務管理訪問(園小中学校1回実施)	A
・9～12月：教育指導訪問(小中学校1回実施)	A

・国や県からの情報や児童生徒の学力向上、教職員の資質の向上に向けた改善事項を周知	A
・英語教育パワーアップ事業	A
・市外他校の研究発表等への参加	B
・教育研究会活動事業の実施	A
・教育実践論文による実践の整理の促進	A
・研究指定実践校の指定	A
・指定研修、希望研修の開催	A
・ALT・JTEの園・小・中学校への配置と研修実施	A
・教職員特任指導講師の配置、リーダー教職員養成研修の実施	A

目標2 園・学校・家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進

- ・学校関係者評価結果の学校(園)経営への反映
- ・自然や文化等に精通する人材の発掘・把握
- ・ふるさと学習事業、特色ある教育活動推進事業

評価

B
A
A

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実

- ・生きる力を育てる教育活動事業
- ・生きる力を育てる教育活動事業、進路指導対策事業

評価

A
A

施策② 地域ぐるみによる子ども支援

- ・1家庭1ボランティアの啓発活動
- ・MSK・MSJ活動の推進
- ・地域行事への積極的な参画促進
- ・各種表彰、コンクールへの積極的な参加の促進

評価

A
A
A
A

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

施策① 子どもの安全・安心の確保

- ・通学路の点検
- ・子ども110番の家支援
- ・すぐメールの活用
- ・児童生徒に対する安全・安心な食材の選定及び使用
- ・食物アレルギーへの取り組み
- ・学校給食センター運営委員会の開催
- ・学校給食アドバイザーの配置

評価

A
B
A
A
A
A
A

- ・管理栄養士（幼稚園担当）の配置
- ・実効性のある命を守る訓練
- ・ネットトラブルチェックシートの活用及び情報モラル指導の充実

A
A
A

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

重点(1) 未来を築く人づくり

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・ジュニアリーダー活動支援
- ・青年団活動支援（地域づくり）
- ・子ども会活動支援
- ・連合PTA支援
- ・ふれあいサマーフェスタ
- ・成人式開催
- ・乳幼児期家庭教育学級（0～3歳児対象）
- ・家庭教育学級（委託開催）
- ・親子DEクッキング！（親子料理教室）
- ・市青少年育成市民会議総会
- ・少年の主張大会
- ・青少年育成推進員会
- ・青少年主体の活動支援
- ・ほほえみジュニア文化祭
- ・地域独自事業（ふれあい会議等）
- ・家庭の日作品募集事業
- ・朝食レシピコンテスト事業
- ・あったかい言葉かけ運動事業
- ・青少年国際交流事業
- ・青少年海外派遣事業

評価

A
B
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
—
A

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・公民館講座・教室ガイド
- ・公民館・分館活動の支援等
- ・数学のまちづくり事業
- ・数楽校運営事業
- ・子どもの読書活動推進関連事業
- ・ジュニア司書養成講座
- ・公民館設備管理事業
- ・生涯学習推進事業、学習機会の提供、図書購入等

評価

A
A
A
A
A
A
A
A

・地域コミュニティ支援事業	A
・放課後チャレンジクラブ支援事業	A
・もとすボランティア44支援	A
・赤彩古墳の館開館事業、民俗資料館活用事業、古文書ボランティア、 船来山古墳群ボランティア、美術展ボランティア	A
・読み聞かせサポーター養成・読み聞かせサポーターステップアップ講座・子どものお話会	A
・安心・安全見守り事業	A
・人権教育推進事業	A
・人権教育リーフレット「心の輪」作成・配付、各校・園の活動及び取組等の紹介	A
・ひびきあい賞表彰	A
・第三次子どもの読書活動推進計画の推進	A

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

	評価
・体育協会事業の支援と推進	B
・スポーツ少年団活動の支援と推進	A
・FC岐阜支援	B
・自治会及び子ども会の活動支援	A
・周知及び窓口支援	A
・スポーツ推進委員の育成	A
・スポーツ大会等の事業展開	A
・ウオーキング・ランニングのまちづくり事業	A
・早春淡墨桜浪漫ウオーク	—
・もとす遊RUN（ジョギング大会）	A
・MOTOSU-FREE10（ウオーキング・ランニングイベント）【新規事業】	A
・研修機会の提供	B
・育成研修会の実施	A
・情報の収集及び発信	B
・全市的な事業展開	B
・各種講座の実施	A
・体育施設の維持管理	A
・本巣市民スポーツプラザ整備事業	A

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

	評価
・文化協会等の支援	A
・文化ホール自主事業の充実	A
・文化財保存活動事業（伝統芸能の育成・支援）	A
・文化財保護審議会の開催と文化財保護事業の実施	A
・市内発掘調査の実施	A

- ・船来山古墳群詳細遺跡分布調査
- ・文化財保存団体支援・記録保存
- ・高木貞治博士顕彰事業
- ・文化財環境整備
- ・歴史探訪セミナー・赤彩古墳の開館・企画展・親子歴史体験教室【ふるさと学習浪漫プロジェクト事業】
- ・美術展等の開催

A
A
A
A
A
A

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

重点(1) 子どもの居場所づくり

施策① 安心して学べる学校の創造

- ・教育相談員研修の実施
- ・生徒指導対策事業の実施
- ・学級満足度調査の実施
- ・生徒指導等事例検討会の実施
- ・本巢市いじめ防止対策に関する条例の周知とそれに基づいた取組の実施
- ・いじめ問題対策連絡協議会の実施
- ・遊具及び体育施設点検の実施
- ・心肺蘇生法実習事業

評価
A
A
A
A
A
A
A
A

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

- ・児童の実態に合わせた支援員（学習・生活）の配置
- ・相談員の配置
- ・小学校非常勤教育講師配置事業の実施
- ・中学校非常勤教育講師配置事業の実施
- ・外国籍の児童生徒及び保護者の支援

評価
A
A
A
A
A

施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・支援員研修会の実施
- ・特別支援教育連絡協議会及び特別支援教育連携協議会の開催
- ・支援チームの計画的巡回訪問の実施
- ・特別支援コーディネーター研修、中学校区毎の教育支援委員会の開催

評価
A
A
A
A

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

- ・小学校小規模改修事業
- ・中学校小規模改修事業
- ・学校施設長寿命化計画策定事業

評価
A
A
A

- ・義務教育学校学校設置事業
- ・空調改修事業
- ・小学校管理備品購入事業
- ・小学校教材整備事業
- ・中学校管理備品購入事業
- ・中学校教材整備事業
- ・給食センター設備修繕・購入事業

A
A
A
A
A
A
A

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

- ・根尾、外山地域活性化検討会議の開催
- ・放課後児童健全育成事業の実施
- ・学力向上サポート事業
- ・放課後チャレンジクラブの実施
- ・多子世帯学校給食費補助事業

評価
A
A
A
A
A

V. 評価委員からのご意見

教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について、点検評価委員会において委員からのご意見を集約したので報告します。

1. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

② 総合教育会議の開催

③ 点検・評価委員会

(2) 調査活動の状況

① 学校訪問

② 先進地視察

- ・船来山古墳群の保存活用を考えていく上で、しだみミュージアムの見学はタイムリーであった。しだみミュージアムは拠点施設であり、船来山古墳群でも、同様の施設がほしい。古墳と柿の館の拡充が望まれる。

③市町村教育委員会連合会研究総会

- ・羽島郡二町教委の二学期制のどんなどころが先進的で参考にできるのか、ここでふれてほしい。

2. 事務事業の執行状況について

目標 1 知・徳・体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上

【教科指導】

- ・教師一人ひとりのPDC Aサイクルによる授業改善が児童生徒に学力を付けていく基本であるがこのような「教科指導を観る〔窓〕」の作成とその活用はとても大切である。
- ・標準に達していない生徒への支援は手厚く進めています。より高度な技能や知識を有する生徒・児童に対する手立ても考えていく必要を感じているところです。

【コミュニティ・スクール】

- ・幼・小・中12年間の一貫した教育を推進することによって、本市の児童生徒の「生きる力」を効果的に育むという考え方は大変良いと思う。但し、舞台が広くなればその分綿密な計画が必要になるので、3校種を貫く柱と、各校種ごとの緻密な計画を立案し、確かなPDC Aサイクルで運営していくことが求められる。
- ・本年の様にコロナ禍を契機に学校と地域の関係を見直す

【情報機器】

- ・電子黒板の用途は電子教材の拡充とも相まって、今後益々拡大されると思われる。本市では全ク

ラスに完備となっているが、できれば独立した電子黒板を各教室に備える方向で進めていってほしい。

- ・一人一台のタブレット端末整備も、他市町に後れをとらないように進めていただきたい。

【教材整備】

- ・デジタル教科書の電子黒板上でのより効果的な活用方法について、校内研修などでも積極的に活用方法等について取りあげ、機器の効果的な活用によって本市の児童生徒の学力向上に努めてほしい。
- ・これからリモート授業も考慮していくべき時が来ています。職員のスキルアップにも努め、また、情報機器の有効活用や具体的な手法を学べる機会が欲しいです。

【ホームページ】

- ・子供の活動など、写真と文で伝えられているのですが、更新したことが保護者に伝えられていないため、大多数の人が更新に気付いていない現状です。せっかくのホームページなので、すぐメール等にて保護者に更新をお知らせしてはいかがでしょうか。

【ライブ中継システム】

- ・根尾地区・外山地区の学校に限らず、市内全域の学校間で意見交換や情報交換のツールとしても活用することはできないだろうか。費用の問題もあるが。

【校務支援システム】

- ・導入でどのような成果があったのか、具体的に分かりやすくまとめられている。業務の効率化、情報の共有化の面で効果的なシステムであり、今後もさらに充実させていきたい。

【英語学習】

- ・幼保・小・中の連続した英語活動・英語指導に取り組んでいる自治体は少数だと思われる。ぜひ、これからの英語教育のモデルをつくりあげていただきたい。
- ・特に大切なのは中3の出口の英語力かと思う。こうした英語力を、オーストラリア研修等にも生かしたい。例えば、参加者だれもが現地の中学生とある程度会話できる力がついているなど。

施策② 心と体のすこやかな発達

【道徳教育】

- ・本校にあっては、2年間の文科・県の指定をいただき有意義な研究実践の機会となりました。

【人権教育】

- ・職員（特に学年）の協力支援体制が確立され、良い雰囲気です。授業実践につなげることができました。

【平和教育】

- ・平和教育の一環として広島研修を中学2年生全員に実施していることは素晴らしいことである。この体験をどう生かしていくか、期待したい。

【読書活動】

- ・本校に至っては、読書量が少ない傾向にあり、読むことの意味や値打ちを生徒と教師が共有しながら、読むことの楽しさを味合わせる工夫をしていきたいです。

【学校給食】

- ・地産地消のメニューでは、放送で一言解説もあり、興味を持った食育が進められていると感じています。さらに、地元の生産者の顔が見られるとよいです。

【部活支援】

- ・補助に対しては、いつも大変感謝しております。

【園児体力向上】

- ・幼稚園で身に付けた運動技能や体力が、小学校でも継続して伸びていくように、小学校における

「生きる力を育むプロジェクト」（まず特に低学年）を今後計画していただきたい。

- ・幼稚園の運動会の姿を見ると、今後の子供たちの成長が楽しみになってきます。幼・小・中の連携を一層図りたいです。

施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援

【児童会サミット、生徒会サミット】

- ・今後とも継続発展させてほしい事業である。
- ・お互いのリーダーとしてのセンスや意識の向上につながっています。今後は、各校のリーダーたちが、リモートでも交流できるようになり、お互いの情報交換やセンスの向上に役立てたいです。

【ESD】

- ・本校では、今年度SDGsをもとに生き方について考える機会を設けるよう努めています。

施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進

【特別支援教育】

- ・感謝しております。一層の充実と保護者を巻き込んだ支援活動に努めたいです。

施策⑤ 教職員の研修の充実

【職員研修】

- ・工夫をしながら、「これから求められる授業改善」に視点を当て、主張のある実践を進めたいです。

【英語教育】

- ・グローバル化が一層進む中、コミュニケーション能力の向上に対して、大変有効な事業だと考えます。より多くの希望者の参加ができるような工夫があるとさらに素敵だと考えます。

【研究発表】

- ・自らの指導力量向上のために研究会等に参加を希望する教員には、できるだけ研修機会を保障していきたい。

【教育研究】

- ・本市でも「根尾学園」が義務教育学校として新たなスタートを切るが、昨今は「義務教育9年間」という考え方が浸透している。小中の障壁を取り除き、9年間の義務教育で児童生徒をどのように育てるかという発想を、カリキュラムの作成や指導体制等で積極的に取り入れていく時期にきているように思われる。本市もそうした動きの中にある様子、期待したい。

【教員研修】

- ・これから伸びようとする教職員には、必要な事業であると考えます。本来、校内で校長や教頭がしっかりと育てるべきところを助けていただき感謝しております。

目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進

【評価委員会】

- ・C.S(コミュニティ・スクール)の動きがあまり見えて来なかった。本年の様にコロナに対しての住民との人手、地域の力をもっと活用すべき。市全体で子どもたちを支える型が欲しい。

【人材発掘】

- ・本巢市教委の「学力向上ボランティア」との連携を図ることも考えたい。

【ふるさと学習】

- ・本市の児童・生徒は、本巢市の魅力についてどのくらい知識（体験知も含め）があるのか、機会があれば調査して実態を明らかにし、それを基に施策を考えていくのも必要ではないか。

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実

【生きる力】

- ・6年生の保護者の中から数人、6年生児童の前で自身の職業や職業観について語る「職業体験講話」を実施してはどうか。（PTA主催のイベントとしても良い）子供が将来を考えるきっかけになるのではないかと思います。

施策② 地域ぐるみによる子ども支援

【ボランティア】

- ・これからの時代、「ボランティア活動」は必須の資質。本市としても様々な事業を展開しているが、目標にある「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の各事業の資質が充実していく系統を明らかにし、意図的計画的に育てていきたい。

【MSJ等】

- ・いつも多くの生徒が利用させていただき、ボランティアが一つのアイデンティティになりつつあります。

【地域行事参加】

- ・様々な活動が計画され実施され、それなりに成果を上げている。どの活動も、児童・生徒に活動の意義等意識化させることによって、随分取り組む姿勢が違ってくる。指導者の支援のポイント等について研修する機会などももちたい。

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

施策① 子どもの安全・安心の確保

【通学路点検】

- ・この機会に、安心安全な通学路になるよう努めていただきたい。

【こども110番】

- ・各地域の住民に110番の家の再確認が必要

【すぐメール】

- ・特別警報や大雨警報（洪水警報含む）発令時は、緊急メールに入れなくてよいのか。
- ・警報発令で休校になりますが、その基準を学校単位で決められるように改正してほしいです。

【食物アレルギー】

- ・大変手間がかかる中、ありがたいと感じています。

【ネットトラブル】

- ・ネットトラブルを避けるためにも、SNSの正しい使い方などは喫緊の指導課題である。
- ・情報モラル研修会を開催すべき。
- ・本巢市の小学生もTickTockやInstagram等SNSに動画等を投稿している現状です。どこまでがOKなのか、親も子供も明確にわからないでいると感じます。

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

重点(1) 未来を築く人づくり

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

【青年団】

- ・地域づくりに真に必要な組織であるならば、団員の減少についての原因を徹底的に明らかにし、魅力的な組織再生を目指し、団員を増やす努力を図っていただきたい。

【子ども会】

- ・市内地域の温度差が大きすぎる

【連合PTA】

- ・もっと各地域間の情報交換をすべき

【成人式】

- ・新成人に手帳を渡す意義は。活動の状況はいかがか

【少年の主張】

- ・自己見つけ、世の中見つけの大事な活動であり、エントリーすることで、多くの学習ができました。

【推進員会】

- ・地域づくりでは、推進委員さんや自治会長そして、公民館の方々に育てられ、「地域でたくましく生きる」生徒の育成がなされています。

【地域独自事業】

- ・岐阜県の教育ビジョンで謳っている「地域社会人」を育てる上で、どの地区の活動も有効である。さらに内容豊かな活動として継続発展させていただきたい。
- ・地域づくりでは、推進委員さんや自治会長そして、公民館の方々に育てられ、「地域でたくましく生きる」生徒の育成がなされています。

【青少年海外派遣】

- ・オーストラリア派遣に小学生も加えては如何だろうか。小学校5年生から英語教育も導入され、英語圏の国への関心も高まってきている中、6年生児童も複数人加えることも考えてよいのではないか。
- ・各年の中国派遣は参加者がいつも少なく、今後の派遣についてどの様に考えるか

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

【公民館講座】

- ・講座数だけではなく、講座の内容と参加者数なども書いた上で、評価してもらえるとわかりやすい。

【数学のまちづくり】

- ・一色小学校の児童の参加は、高木博士を生んだ小学校の一員である誇りを持ってもらう上でとてもよいことである。

【ボランティア44】

- ・大変役に立つ内容のイベントになりました。色々な災害に備え、小学生から、高齢者が一緒にな

って取り組める等、あらゆるパターンで、体験出来たら、勉強になると思います。

- ・子ども学芸員の資格の規定のようなものはできているのか、またどのようにして資格が与えられるのか。

【船来山古墳群】

- ・社会科の授業と連携して、一層のPRができるといいと考えます。特に子ども学芸員をうまく生かしたいです。

【しんせいほんの森】

- ・学校の担当レベルもしっかりと理解、学びができるようにしていくことも大事だと感じています。

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

【体育協会】

- ・加盟団体の減少、会員数の減少は、残念です。高齢化でしょうか。加盟団体のメリットをお知らせしながら、活性化が出来る様、応援します。

【駅伝大会】

- ・中学生に対しては、他地域との交流、高校、一般の選手から学ぶことが非常に多い。又、アスリート育成の為にも、特に学校の協力をお願いします。

【ぎふ清流駅伝】

- ・本巣アスリートクラブを中心に選手育成等、大会に参加が出来る事は、素晴らしい。関係者の努力に感謝です。陸上競技全般に、取り組める環境があり、幼児からでも、始められるシステムづくりが出来るといいですね。有力選手、OB選手等の活用を期待したいです。

【スポーツ少年団】

- ・少子高齢化。本巣市の小学生でスポーツにかかわっている割合はどれぐらいになるでしょうか。幼児教育から取り組む本巣市の基礎体力づくりを生かす為にも、スポーツを楽しむ子供達の育成に期待します。少年団の運営も現状に合わせながら、楽しい活動を期待し、保護者の負担減も団員増加の要因になるのではないのでしょうか。

【FC岐阜】

- ・500枚の無料チケットがすべて活用できる、積極的なPR、アイデアを期待。サッカー関係者を中心に、行政バス利用で、一般の応援団募集の試みなど、市内での盛り上げりを、会場に伝えたいです。

【自治会子ども会】

- ・自治会の体育委員の活動、子供会の役員との横の連携が出来ると、相互の負担も少なく、活動が充実するのではと思います。

【スポーツ推進員】

- ・スポーツ推進委員相互が連携を密にし市民との連絡調整役が積極的に出来る様、日頃から地域密着の活動を心がける。生涯スポーツにも関わり健常者とともに楽しめる競技等研修を引き続き行いたい。

【ソフトボール大会】

- ・自治会対象の大会も今日では、連盟が中心になり、選手の平均年齢も高くなる中、若い選手も仲間入り、うまく世代交代が図られている。

【カローリング】

- ・正式ルール（3名）による大会になり、参加チームがやや少なくなったような気がする。うすずみルール（6名）のオリジナルも幅広い年齢層に楽しんでいただき、道具の有効活用を図ることを望みます。

【軽スポーツカーニバル】

- ・イベントとの同時開催は、参加者は多く盛り上がる。参加者に合わせ、種目を改善することも今後の課題。リクリエーション協会との共催、連携を取り盛り上がるイベントに期待します。

【ウォーキング・ランニングのまちづくり】

- ・ウォーキング、ランニングイベントを開催する上で、本市は環境的にたいへん恵まれている。さらに充実させ、健康都市宣言などを出し、市のPRに努めたい。
- ・市内全体に、手軽に楽しめるコースがいくつも出来る様、ウォーキング、ランニングのまちづくりとして、実行委員会形式で多方面から集約、収集して、市民の為のコースづくり、気軽に楽しめるコースづくり期待します。

【浪漫ウォーク】

- ・改善に改善を加え今年こそはと、準備が出来てからの大会の中止、とても残念な事、御苦勞に感謝します。次年開催を楽しみにします。協力関係者等も入れた実行委員会の見直しはどうでしょうか。安全第一、スタッフの過密作業解消に、良いアイデアが出てくることを祈ります。

【もとす遊RUN】

- ・参加者は、市民が多く手軽に参加出来る。小さい子から、高齢者、元気な中学生、ファミリー、その応援家族。スタッフ全員で盛り上げる大会、市民の健康増進の為にも大切に続けたいです。

【FREE10】

- ・こちらのイベントの広報物を見ましたが、どんなことをするのか？イメージ重視のデザインのため、わかりにくかったです。次回からは、R1年度の実績写真も交えて、わかりやすくPRしていただくと良いです。
- ・初めてのイベントであり、取組にご苦勞が見受けられる。参加者の市内外の内訳等、申し込み方法も、モレラ窓口を作り、幅広い市民参加を増やす事も、大会成功の一助になるかと思えます。

【育成研修】

- ・講師依頼において、多くの方が受講できる研修、又、2から3回のコース研修の方法は、難しいでしょうか。

【情報発信】

- ・情報発信は、色々な方法で、引き続きお願いします。シリーズ方式も楽しいですね。

【総合型スポーツ】

- ・充実した、各講座が、本巢市全域に、広められることが理想ですが、市民の身近なクラブとして、まず出来るところから、前に進める。クラブ以外の既存のサークル等の情報も生かしながら、各地域に開催出来たらと願っています。

【施設整備】

- ・施設老朽化は各箇所でき、改修修繕も重なりますが、安全第一で取り組んで頂く事をお願いします。次世代に合う体育施設の充実、そんな夢をスタートしてほしいです。

【市民スポーツプラザ】

- ・学校のプール利用期間が短い為、利用者が多いと思います。利用者が安心して楽しめる施設として、手厚い支援をお願いします。

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

【文化財保護】

- ・市指定文化財の見直しを図る必要がある（旧町村時代の指定がそのままになっている。特に天然記念物）

【文化的学習機会】

- ・「柿と古墳の館」の活用はどうなっているか。春と秋の特別開館だけでよいのか、今後のことも踏まえ、常駐の職員を配置する日数を増やし、館のPRと共に、船来山古墳の魅力に関心を持つ市民を増やしていきたい。

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

重点(1) 子どもの居場所づくり

施策① 安心して学べる学校の創造

【いじめ】

- ・こどもに寄り添った、丁寧な指導を一層進めたいです。

【満足度調査】

- ・学級満足度がどの程度の数値を示せば「よし」とするのか、学級の人間関係もこの調査で分かるのでしょうか。

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

【学習支援員】

- ・個に応じたきめ細かな指導をすすめる一助として大変ありがたいです。

【外国籍支援】

- ・中国語指導の支援には、大変助かっています。一層の連携と保護者との連携も進めていきたいです。

施策③ 特別支援教育体制の充実

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

【備品購入】

- ・老朽化したり、生徒の体格に合うようにと配慮していただけ、感謝しております。

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

【北部小規模校】

- ・根尾学園設立委員会では、根尾地区にあるからこそ可能な教育活動、さらに、義務教育学校になることによる「強み」などを最大限発揮できるような構想を練っていただきたい。

【放課後児童】

- ・真桑留守家庭教室において、送迎時の車の出入りが危険だと感じます。出入り口の見通しが悪く、時間帯も集中するため、渋滞や危険な場面があります。車を一方通行にするなど、対策をお願いしたいです。

【学力向上サポート】

- ・市内各コミュニティースクールの「学力向上部会(?)との連携を図り、より効果的に市内児童生徒の学力向上に資するようにしたい。
- ・コーディネーターのコーディネートがたいへんうまく機能している。

【多子世帯給食支援】

- ・とてもよい施策だと思う。さらなる充実を願いたい。